

ルーテル学院大学大学院 共催講座

新型コロナウイルス時代の地域ケアを考える
トークセッション—三鷹市・調布市・小金井市の現場から



三鷹市、調布市、小金井市の在宅医療や福祉の現場から、東京都医師会副会長の角田徹氏など総勢18名のゲストスピーカーを迎え、オンラインで11月6日から毎週全4回のトークセッションを開催し、参加者は延べ340人に達しました。

企画・構成・進行を務めた同大学の市川一宏教授は、東京都高齢者保健福祉計画策定委員会委員長(第8期)、東京都共助社会づくりを進めるための検討会委員長、三鷹市、調布市、小金井市、練馬区等の介護保険事業計画等の策定に関わっています。第2回でコロナ禍の下の地域の現状と課題、支援の継続・強化を語り合い、第4回では地域の多様な実践者5名を迎え、実践を通して共生社会を目指す地域ケアの可能性を検証しました。これからの高齢者医療福祉のあり方と地域社会の再生に向けて、熱い議論が交わされました。

東京学芸大学 企画講座

子ども支援学講座

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全12回の講座をすべてオンラインで開催しました。1月23日から3月21日までの約2か月間、30時間の受講という長い期間でしたが、最後の課題研究では「放課後の再建」をテーマに14名がプレゼンテーションし、充実した学びの成果を発表しました。受講者は、三鷹市民が8割以上を占め、今後、市内での子どもたちへの支援活動での活躍が期待されます。

専門学校アジア・アフリカ語学院 寄付講座

「日本語の研究・教育・文化」ほか

「日本語の研究・教育・文化」では日本語教師や日本語に関するボランティアを目指す方をはじめ、言語学やコミュニケーション論に興味をお持ちの方など、幅広い方を対象に3回の連続講座として開講しました。人間の言語の特徴を概観し、人間がどのようにコミュニケーションをとっているかを考えました。

また、「アラビア語講座」はオンラインで開講しました。挨拶や会話などのフレーズを学ぶことを通して、アラブ・イスラム文化への理解をより深める機会を提供しました。

大正大学 寄付講座

現代に生きる仏教の智慧と慈悲
—社会に向き合う仏教者の事例から

2020年度に三鷹ネットワーク大学推進機構の正会員となった大正大学の記念すべき第1回目の講座となりました。大正大学の特徴ともいえる仏教の分野から、「仏教の教えを通じて現代社会を生きるための知恵を学ぶ」講座を開催しました。講師には、小川有閑さんをお招きしました。

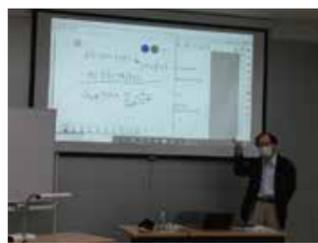


オンライン講座の様子

国際基督教大学 寄付講座

“数学のタベ”

清水勇二教授および土屋あい子元上級准教授による講座を実施しました。2020年度は没後100周年の数学者ラマヌジャンに焦点をあてるなど、オムニバス形式で、5回開催しました。2021年度もモジュラー形式と楕円曲線などをテーマに、オムニバス形式で実施する予定です。



東京女子大学 寄付講座

“数学はこんなに面白い!” “数学カフェみたか”

東京女子大学名誉教授の小林一章氏による講座で、「数学はこんなに面白い!」は12年目、「数学カフェ」は7年目と長寿講座となっています。キャンセル待ちになることも多く、数学に関心のあるシニア層に大変人気です。

東京女子大学 企画講座

円周率πの魅力—確率からのアプローチ

3月14日に、東京女子大学現代教養学部数理科科学科竹内敦司教授を講師に迎え開催しました。「円周率の日」という記念すべき日に、円周率と親しんでみたい皆さまがオンラインで集まり、確率に関する身近な問題を取り上げながら、円周率πの近似計算に向けた課題に取り組みました。

東京女子大学 企画講座

日本経済の長期低迷、コロナ危機、未来への示唆



IMFエコノミスト、ロンドン大学客員教授として内外から日本経済を考察してきた荒巻健二教授によるゼミ形式の連続セミナーを10月~12月に開催しました。「何故、日本は低成長と将来不安に支配される国となったのか?」をテーマとした、7回の連続講座で、荒巻教授と受講者同士がディスカッションする濃密な時間となりました。

国立天文台 企画講座

“おうちでアストロノミー・パブ”

お酒と料理が魅力のアストロノミーパブも、オンラインに。前半は、ゲストとホストの講師によるトークタイム、後半は、2つの部屋に分かれ、ゲスト、ホストと共に、それぞれ好きな飲み物を片手に自由に語り合うパブタイムという新しいスタイルで。「系外惑星の最前線」「X線天文学者が挑む雷の不思議」など最新の天文学にふれることができました。

(一社) アジア経営戦略研究所 連携企画講座

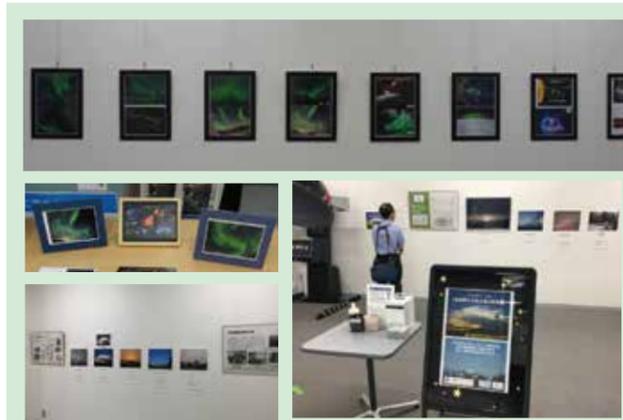
アジアでの価値づくりに挑む企業のイノベーション

昨年度に続き、1月~3月に「アジア経営戦略ビジネススクール」の9回の特別講座を開催。毎年人気のアジア経済やビジネス専門家によるオムニバス講義です。オンラインの特性を生かし国内各所や海外からの参加者も交えて、コロナ禍を踏まえた最新の状況についての講義と議論が行われました。

東京都立産業技術大学院大学 寄付講座

色彩とイメージから考える個人のセンスアップ

1月28日に色彩に関する講座を開催しました。講師は同大学助教の河西大介さん。当たり前になりがち色彩を再認識し、自然の移り変わりや身近な生活の中から事例を取り上げ、個人が持つ色彩から連想するイメージと大多数の人が持つ共通するイメージの違いを比較しました。



成蹊大学 連携企画展

天文・科学情報スペース企画展 来場者数: 計1,783人

成蹊大学と連携し、2つの企画展を開催しました。
「武蔵野から見える雲の風景展」 9月4日~10月18日
「オーロラと宇宙の天気展」 11月27日~1月31日

杏林大学 公開講演会

「ホントは多い、女性の排尿トラブル」ほか

女性に多い排尿トラブルを女性泌尿器科専門の女性医師がわかりやすく解説しました。そのほか、「新型コロナウイルス感染症: 診断・治療・予防について」「人生100年時代における自分らしいキャリアとは」「2020年大統領選挙とアメリカ政治外交」をテーマに年間4回の講演会を開催し、20代~80代まで幅広い年齢の方が受講されました。

2020年度「民学産公」協働研究事業

2020年度は、正会員・賛助会員の大学・企業・団体等と5件の協働研究事業(実証実験)に取り組みました。3月5日(金)に、オンラインで開催した成果報告会の様子を、YouTubeライブで配信しました。

- (1) エム・ティ・プランニング株式会社
- (2) 法政大学地域研究センター
- (3) 境交通株式会社
- (4) NPO法人グリーンネックレス
- (5) 三鷹ICT事業者協会 (Cloudy knotおよびCode for Mitaka/Musashino)

- 「みたか太陽系ウォークに関するクイズの開発」
- 「TAKA-1からTOKYO-1への実証研究」
- 「『まいど (MAIDO)』プロジェクト」
- 「はけのメディアラボ・音声コンテンツ研究事業」
- 「地元で働きたい人のためのスキルアップ情報サイト」

2020年度 三鷹まちづくり総合研究所「まちづくり研究員」



2020年度から三鷹まちづくり総合研究所「まちづくり研究員」事業が始まりました。まちづくり研究員に、33組、合計52人の方を委嘱しました。論文コースとまちづくり提案内容コースに分かれ、市民参加、観光、アート、健康、防災など、多岐にわたる三鷹のまちづくりに関するテーマについて、調査・研究を行いました。コロナ禍により計画通りには研究が進みませんでした。初年度には12組が論文を書き上げることができました。4月16日(金)にはその研究成果を三鷹市長に報告し、活発な意見交換が行われました。研究成果の論文は、2021年夏に三鷹まちづくり総合研究所が刊行する紀要に掲載される予定です。

